

別添資料 1

参加 学校名・園名		イデ木古村保育園		氏名	
令和 7 年 6 月 25 日 (水)		高岡第一学園認定こども園第二幼稚園		5 歳児 はと組	
活動名		はと組忍者村で修行をしよう!の巻			
ねらい		・ 忍者になりきって、いろいろな修行に挑戦し、体を動かすことを楽しむ ・ ペアの友達と行動を共にする。			

注目した遊びの場面 (どこで、誰と、何を、どのような用具を使って等) と、子供の様子・発言		環境や保育者の援助や助言の様子	
・ 水蜘蛛の修行では、子どもが「横すび」を自分で考えた術を保育士に嬉し気に伝える姿があった。⑤⑩⑪① ・ はじめの修行や天井張り付きの修行では、子どもたち一人一人が自分のペースでゴールが出来るようにあきらめずに頑張っていた。途中で落ちても、糸繰り返し楽しんで楽しんでいた。ゴールができたときは、満足そうな表情をしていた。①② ・ 話し合いの場では、「ペアの友達とゴールをどうと相談しながら遊ぶのが楽しかった」と発言する子がいた。③⑥⑨		・ 「本当やね。横すびやね。」と、子どもの考えを受けとめている。 ・ 近くで見守りながら、子どもたち一人一人に声をかけて寄り添っていた。ゴールができた子と共に喜びを共有していた。 ・ 忍者の「し」についていることを伝え聞いた子どもたちが学んでいることを分かりやすく言葉で伝え聞いた。 ・ 子どもが出来るようになったこと、元氣張っていたことを言葉で伝え聞いた。	
幼児期の終わりで子育てしてほしい姿		10 豊かな感性と表現	
1 健康な心と体		9 言葉による伝え合い	
2 自立心		8 数量や図形、標識や文字などへの関心・発見	
3 協調性		7 自然との関わり・生命尊重	
4 道徳性・規範意識の芽生え		6 思考力の芽生え	
5 社会生活との関わり		5	
4		4	
3		3	
2		2	
1		1	

○保育参観の視点		○参考になったことや気付いたこと	
1 子供が主体的に遊びを見付ける環境を整えている		・ 修行場を遊んだ後、集まったことを話し合う場では、子どもが自分の思いを相手に分かりやすく伝えられていたことが印象的だった。(だから、ここで、どんなことをしていたか、子どもたちなりに伝え聞いた。)自分の思いや意見が通る場をもつことの大切さを改めて感じました。	
2 子供が安心して遊び込む雰囲気がある			
3 援助や配慮が必要な子供に適切に対応している			
4 振り返りの場を設け、遊びを深めたり広めたりできるようにしている			
5 友達と一緒に楽しく遊びや活動を進めている			
6 「楽しかった」「明日も続きをしたい」という思いをもっている			